

## 井之川博幸市議の一般質問報告その5

# 介護職員処遇改善交付金廃止

## 処遇改善は地方分・保険料・利用料の負担増へ



井之川博幸市議

井之川博幸議員は、介護保険料の大幅引き上げのなかに、今回の改定で国が全額負担してきた「介護職員の処遇改善」のための交付金を廃止して、介護報酬に組み込んだため、保険料の引き上げに影響しているのではないかと質問しました。

市長は、保険料の引き上げ分の中に「報酬改定分が入っている」ことを認めました。

介護現場職員の待遇は、年収200万円以下のワーキングプアといわれる水準の人が大半で、介護職員の離職率が高く社会問題になってきました。そこで国は介護職員の待遇を改善するため、全額国費で年1,900億円を負担してきましたが、今回の改定で廃止して、介護報酬を1.2%（いままでの1万5,000円の引き上げのためには2%が必要）引き上げ、職員の賃金に反映させるようとしています。

介護報酬の引き上げは、地方負担や保険料負担、利用者負担を増大させます。介護職員が不足では、まともな介護ができません。介護職員の待遇改善は国が責任を持って行なうべきです。

# 北毛の観光地にも春の訪れ！

## 吹割の滝開き・安全祈願祭を実施

4月18日、スキーシーズンも終わりに近づき、長く厳しかった今年の冬も終わり、沼田市の観光地にも春の訪れをつげる「吹割の滝開き」が開催されました。



代表者によるテープカット

昨年は、3月11日に東日本大震災が発生し、東電原発の大惨事も起きました。吹割の滝付近でも事故がありました。今年は事故をなくし、良い年になるよう安全祈願祭を行ない、参加者で滝を見学しました。

## 沼田市新年度予算審査情報

# 市税収入は61億8千万円

## 地方交付税は64億円前年比同額

## 自主財源年々減少

新年度予算の歳入総額は205億6,585万円です。依存財源である地方交付税は前年同額の64億円を見込みました。自主財源の市税は61億8,321万円の前年比マイナス1.1%、市内経済の後退、人口減少などにより自主財源は4年前の43.8%から30数%へと、ますます減少しています。

収入財源の31.1%を占め最大の地方交付税も、合併後10年間の加算が行なわれていたのですが、4年後には加算が減らされることになっており、収入財源の減少が考えられます。市内経済を活性化させ、自主財源を増やすことが必要になってきます。

# 中心市街地区画整理事業は1億5,786万円

中心市街地区画整理事業には昨年度の3億2,146万円につづいて今年度も1億5,786万円が計上されました。ほとんどが家屋の移転などに伴う物件補償費です。

# 三井生命がGB21の固定資産税返還を求めて沼田市を提訴

三井生命保険（グリーンベル21の85%を所有していた）が、沼田市に収めてきた固定資産税が多すぎたとして1億825万円と年

5分の加算金の返還を求める請求を前橋地裁に提訴しました。



滝に向かって安全祈願

2012年4月22日	No.605
<b>いのさんニュース</b>	
発行所 沼田市下久屋町 983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	